

2026 年 9 月 1 日 (火)

報道関係者各位

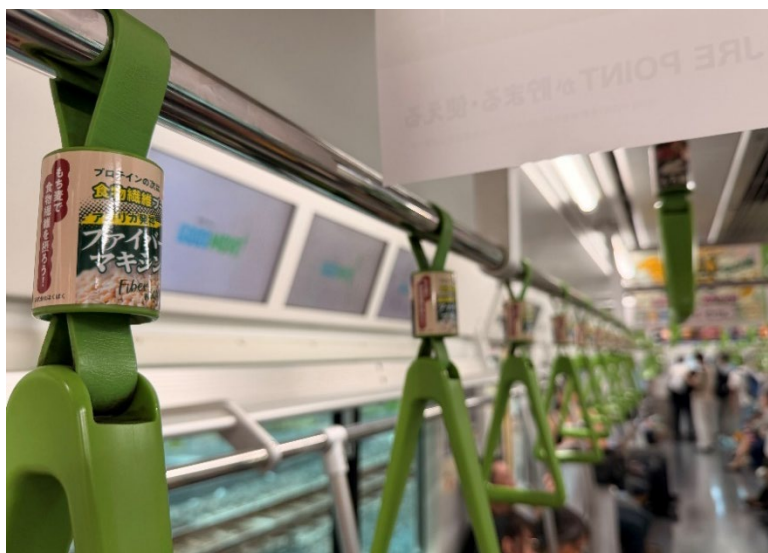


<https://www.hakubaku.co.jp/>

【即ご掲載可能】豊富な宣材画像をご用意しております / 【オンラインも受付中】社長への取材可能！

「もち麦」「十六穀」をいつもの主食に！ はくばくが山手線で「つり革ジャック」を開始 ～日常の移動導線から「毎日の雑穀習慣」を提案～

『主食改革』を提唱する穀物のリーディングカンパニー株式会社はくばく（本社：山梨県中央市、代表取締役社長：長澤 重俊）は、2026 年 8 月より 1 年間にわたり、JR 山手線の 1 編成（全車両）にて「もち麦」および「十六穀」のつり革ジャック広告を展開いたします。欧米発のヘルストrend「ファイバーマキシング」や、家庭の味をアップデートする「穀うまカレー」を訴求し、1 週間で延べ約 1,581 万人が利用する都心の大動脈を通じて、日常の生活導線から「毎日の雑穀習慣」を提案してまいります。



◎実施背景と目的

雑穀や大麦製品は健康価値が認知されている一方で、「普段の食生活にどう取り入れればいいかわからない」というハードルが存在します。そこで、毎日の通勤・通学で誰もが利用する『つり革』という生活導線に着目しました。展開先となる JR 山手線は、都心の主要エリアを網羅し、多様な職種やライフスタイルを持つ人々が行き交う日本屈指の情報発信拠点でもあります。1 週間で延べ約 1,581 万人が利用する山手線を活用した 1 年間の長期的な接触により、「特別な健康食」から「いつもの主食として日常的に取り入れられるもの」への意識転換を促し、日常的な利用への定着を目指します。

◎広告デザイン

◆もち麦デザイン

欧米の Z 世代から世界的なムーブメントになりつつある「ファイバーマキシング(食物繊維の摂取量最大化)」を全面に打ち出しています。プロテインブームに続く次なる潮流として食物繊維に着目し、「いつもの主食をもち麦に変えることで、無理なく効率よく食物繊維を摂取できる」という、日常の中で実践できる手軽な方法を提案します。



◆十六穀ごはんデザイン

「カレー×十六穀ごはん」の相性の良さを伝え、いつもの白米を十六穀に変えることで、カレーのおいしさがより一層引き立ち、食感やコクが増す「穀うまカレー」を提案します。「いつものご飯に足して炊くだけ」の手軽さでご家庭のカレーをアップデートする新しい食卓習慣を発信します。



◎ 掲出概要

- ・ 掲出期間：2026年8月～2027年7月(1年間)
- ・ 掲出路線：JR山手線
- ・ 対象車両：1編成(全50編成中)の全車両・全つり革
- ・ 想定接触数：延べ利用人数 約1,581万人/週

■ はくばくについて



社 名：株式会社はくばく
所 在 地：〒409-3843
山梨県中央市西花輪 4629
代 表：代表取締役社長 長澤 重俊
設 立：昭和16年4月15日
資 本 金：98,000,000円
事 業 内 容：食品製造および販売
U R L：<https://www.hakubaku.co.jp/>

The Kokumotsu Company として

当社の社名「はくばく」は白い大麦という意味です。創業社長である祖父が「もっと麦ご飯を喜んで食べてもらいたい。」という思いから、大麦を一粒一粒半分に割って黒い筋を目立たなくした製品を開発しました。

以来、我々ははくばくは穀物とともに歩み、精麦の他、雑穀、和麺、麦茶、穀粉、米を事業として手がけるようになりました。

人類を太古から支えてきた大切な「穀物」を、現代の食卓へもっと多く登場させ、もっと楽しんで食べてもらうこと。それは家族の笑顔が増えること。またそれは家族が健康になることだと考えています。これを実現するために、我々ははくばくは主食であるごはんの「質」を見直す「主食改革」を、社員一丸となって本気で目指して参ります。

株式会社はくばく
代表取締役社長 長澤 重俊

本件に関する問い合わせ先

株式会社はくばく 広報担当：手塚 俊彦 携帯：080-1005-2988 E-mail：pr@hakubaku.co.jp